

『森林再生と平成検地』シンポジウム

日時 5月17日(月)13時30分から16時
 主催 日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)
 共催 建設トプランナー倶楽部、全国青年会議所建設部会、建築技術支援協会
 場所 日本建築学会 建築会館ホール
 会費 無料

趣旨:森林再生のためには、林地の集約が必要であるが、地籍調査は4割しか進んでおらず困難な状況である。林地境界を知る人が高齢化するなかで、境界確認の実施が急がれる。国家事業「平成検地」として、森林の境界確認、森林状況の実態把握、全国土デジタル情報基盤の整備を早急に講じることを提案する。国土調査法が今年4月に改正され、国土調査の民間法人への実施の委託が可能になり、建設業の雇用対策としても有効である。一つの方法として、林建共働で境界確認と集約化を進めることも考えられる。本シンポジウムでは「森林再生と平成検地」について考える。

プログラム

開会挨拶	中村英夫 JAPIC 副会長、東京都市大学	13:30
趣旨説明	大石久和 JAPIC 国土委員長 東京大学特任教授	13:35
来賓挨拶	谷口博昭 国土交通事務次官	13:45
パネルディスカッション「森林再生と平成検地」を考える		13:50
コーディネータ	米田雅子 慶應義塾大学理工学部教授	
パネリスト	島田泰助 林野庁長官 原田保夫 国交省土地・水資源局長 清水英範 東京大学社会基盤学専攻教授 田口守彦 下呂市農林部長	
1)森林・林業再生と森林境界	島田泰助 林野庁長官	13:55
2)地籍調査と民間活力の導入	原田保夫 国交省土地・水資源局長	14:10
3)新技術を活用した平成検地	清水英範 東大教授	14:25
4)次世代林業と林建共働	米田雅子 慶大教授	14:40
5)岐阜県下呂市の取り組み	田口守彦 下呂市農林部長	14:55
ディスカッション		15:10
	パネリストによる自由討議	
閉会挨拶	和田 章 建築技術支援協会代表理事、東京工業大学	15:55
閉会		16:00

[配布資料]

■ パネルディスカッション

1) 森林・林業再生と森林境界

林野庁長官 島田泰助様

2) 地籍調査と民間活力の導入

国土交通省土地・水資源局長 原田保夫様

3) 新技術を活用した平成検地

東京大学教授 清水英範様

4) 次世代林業と林建共働

慶應義塾大学教授 米田雅子様

5) 岐阜県下呂市の取組み

下呂市農林部長 田口守彦様